

【校訓】

明朗・自治・創造

1 学校教育目標

「人間尊重の精神を基盤に、知・徳・体の調和のとれた全人教育を目指し、自ら学ぶ意欲と主体的に生きる力を育成する。」

2 目指す生徒像

- ・あいさつから始まる「つながり」を大事に「人」との「かかわり」を大切にできる生徒
- ・自分自身でしっかりと考え創造できる生徒
- ・「人」（自分も周りの人も）を大事にできる生徒

3 目指す学校像

- ・学校と地域が共にあり、地域に応援される学校
- ・すべての生徒の心の居場所となる明るく温度のある学校
- ・生徒や教職員各々が学校を創る大事なかけがえのない人である

4 目指す教師像

- ・総合的人間性が豊かで社会や生徒に信頼される教師
- ・生徒とともにあり、教師自身も自己肯定感を持ち、たくましさとしなやかさを持ち合わせた教師
- ・ぬるい教師集団でなく、温かく高め合える教師集団

5 努力目標

「拓く～ひらく」

- 1, つながりをつくる あいさつから始めよう
 - 2, 心を拓く 人（自他）を大事にしよう
 - 3, 耳を拓く 人の話を聞こう。そして 自分の頭で考え行動する。
- 暗黙の約束：ルール（規律）は守ろう！

6 重点項目

（1）学習指導の充実

- ・対話的な学びによるわかる授業の創造
- ・指導と評価の一体化と評価方法の工夫
- ・ICTを活用したわかる授業楽しい授業の工夫

（2）特別活動と道德教育の充実

- ・道德研究の実践と授業力向上
- ・年間計画に基づいた系統的な「総合」の授業の改善
- ・キャリア教育の充実と個に応じた進路指導

（3）不登校対策

- ・不登校生徒全てに寄り添った支援と多様な学びの場の確保
- ・心や体調の変化の早期発見による学校に登校しにくくなりかけている生徒への早期対策
- ・不登校対策チームによるアセスメントとスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーに加え、福祉、医療、司法、行政との連携強化

(4) 特別支援教育の充実

- ・小中高の連携による成長のつながりにおいた系統立てた支援の推進
- ・特別な支援を必要とする生徒の個に応じた合わせたキャリア教育・就労支援の推進
- ・教職員の研修と特別支援教育コーディネーターとの情報交換の推進
- ・通級による指導の充実
- ・障がいのある生徒と障がいの無い生徒による交流と協同学習による相互理解

(5) 安全・安心な学校づくり

- ・施錠や鍵の管理など教職員の危機管理意識の徹底
- ・防犯教育と不審者対策の充実
- ・心肺蘇生、A E D研修の実施
- ・「自助・共助・公助」に基づく学校と地域が連携協力した防災教育

(6) 生徒理解に基づく生徒指導

- ・生徒の内面理解と全教職員の共通理解による、いじめ防止、早期発見、早期対応、早期解決
- ・体罰をはじめとしたあらゆるハラスメントの根絶
- ・情報化（スマホ・携帯）への敏速な対応
- ・家庭、地域、関係機関との連携
- ・生徒を見まもり、全教職員による報・連・相の連携

(7) 学校教育啓発活動の充実

- ・オープンスクールなど地域に開かれた学校
- ・PTA 会員相互の研修と PTA 委員会の充実
- ・学校運営協議会による地域教育力の向上

(8) 教職員の働き方改革

- ・ワークライフバランスの実現
- ・校務支援ソフトと共有フォルダの活用による業務改善
- ・勤務時間とストレスや心身の不良の関係性などの研修等での教職員の意識改革

7 経営方針

(1) 全教職員が見る角度が違って、すべての生徒を見、すべての生徒と関わる

- ・「生徒のいるところに教師あり」の理念もと多くの時間を生徒と共有し信頼関係を築く
- ・アンテナを高くし、生徒を見、いじめ、問題行動の早期発見、早期解決に努める
- ・教師が個で動くのではなく、教師相互の連携ができる教師組織の構築
- ・生徒や教職員各々が学校を創る大事なかけがえのない人であるという意識を持つ

(2) 自ら学ぶことに喜びや楽しみをもつ教育活動を行う

- ・兵庫型学習システムの活用により、確かな学力の向上を図る
- ・主体的・対話的で深い学びへの協働的な学びと授業改善。
- ・I C Tを活用した個別最適な学びの推進

(3) 家庭・地域の連携を密にする

- ・学校公開、ホームページ、通信等を通じて開かれた学校を目指す
- ・ボランティア活動など地域に貢献し地域の中の学校を目指す
- ・学校運営協議会による地域ともにある学校づくりに努める